

なたよりもっと不幸な人は、この世の中にたくさんいます。あなたは自分のためにも、これから的人生を貧しい人のためにつくしたらどうですか。」と、教えられました。

岩子は、自分の心の弱さに気づき、叔父が人のためにつくした働きぶりを思い出し、これから的人生を人のために働くことを決意したのです。

会津戦争

慶應四年（一八六八年）八月、会津若松の城下町は、大砲たいほうの音がひびきわた
り、薩摩さつま、長州ちょうしゅうの軍隊と会津の武士が入り乱れて戦いがはじまりました。戊辰ぼくしんの会津戦争です。

傷ついた武士たちは、あちらに倒れ、こちらにうずくまり、刀をつえに歩き、